

資料番号 サブナンバー	名称	内 容	備 考
052192-0001	危険円部会	①第9回危険円部会(昭43/7/12)議事概要、A4、2p ②ガス濃度計算結果、A4、7p(上記部会資料) ③大型タンカーの危険円の推定、A4、5p、及びメモ ④流出した油の拡がり、A4、6p ⑤対衝突構造の検討、A4、6p、及び関連資料 (上記3件は元良研作成と思われる手書き資料) ⑥原油集中設備の基本構想について、昭42、 日本海難防止協会、A3、8p ⑦流出油の漂流について、海上保安庁、B4、12p、 流出した油の拡がり、B4、2p、中間報告書の一部 ⑧衝突事故に関するデータ集、A3、5p、A4、34p ⑨石油火災における炎からの輻射熱の推定、昭49/9、 秋田一雄、B5、17p ⑩大気拡散の研究の一つの経過、1968/6、坂上治郎、 B5、5p、日本気象学会機関紙「天気」別刷 ⑪航空の安全についての基本的考え方、池田健、 1967/4、A4、27p、東大宇宙航空研究所報告 ⑫Statistical Analysis of Casualties to Ship Hull、 1964/4、Federal Republic of Germany (以下の2件は、両部会に関連する資料) ⑬第1回部会長打合せ会(昭43/3/25)議事概要、 A4、3p、及び同打合せ会資料、A4、2p ⑭「大型タンカーによる災害の防止に関する研究」 本報告書目次案、昭43/8/8、事務局、A4、1p	①～⑤ ビニール袋 ⑦封筒入り ⑧ビニール袋 ⑬、⑭ ビニール袋
052192-0002	第1回 海難確率部会	①超大型タンカー災害防止研究委員会、 第1回海難確率部会の開催について、A4、2p ②第1回海難確率部会(昭43/1/9)議事概要、B5、9p (以下、第1回部会の配布資料) ③TP-1、世界タンカー海難発生率、B4、4p、事務局 ④TP-1-2、世界タンカー海難発生率の総トン数との 相関、B5、3p、 ⑤TP-2、世界タンカー海難発生率グラフ、A4、4p、 事務局 ⑥TP-3、航洋タンカー海難発生率、海防協、B5、1p ⑦TP-5、確率部会で検討を要する問題(案)、元良、 A4、2p ⑧TP-6、油流出量の絶対値、元良、A4、5p ⑨TP-7、原油港湾別輸入状況(41年度実績)、 石油連盟調査、B4、2p ⑩T-2、世界タンカーの重大海難(1966年)、A4、10 p、 事務局 ⑪浦賀水道の図、A3、1p	ビニール袋

資料番号 サブナンバー	名 称	内 容	備 考
052192- 0003	第2回 海難確率部会	①第2回海難確率部会の開催について、B5、2p ②第2回海難確率部会(昭43/1/29)議事概要、B5、3p (以下、第2回部会の配布資料) ③TE-5、石油および大型タンカー関係資料、石油連 盟、 B4、24p ④TP-8、天候風潮の総合階級、故斎藤浄元先生著、 「海難論」より、B5、9p ⑤TP-9、海難発生率と総トン数との相関、A4、7p、 事務局 ⑥TP-10、海難の確率と防災投資額、平本、A4、3p および付図 ⑦TP-11、気象と経済、平本、A4、7p ⑧TP-11、予報の情報量、A4、7p ⑨TP-12、衝突の確率について、藤井弥平、A4、5p ⑩TP-12、避航と衝突の確率について、藤井弥平、 A4、14p ⑪TP-12'、およその見積、A4、1p ⑫TP-13、ランダムに走っている他船と接触する確 率、 平本、A4、6p ⑬TP-14、超大型タンカーの運賃原価とDWの相関、 「海上輸送の進歩」講演より、B5、2p	ビニール袋
052192- 0004	第3回 海難確率部会	①第3回海難確率部会(昭43/2/27)議事概要、A4、2p (以下、第3回部会の配布資料) ②TP-15、世界タンカー海難発生率(ロイド統計)、 A4、6p、事務局 ③TP-16、世界タンカー火災爆発と、それをともなった 海難(1965~1966)ロイド統計、B4、3p、事務局 ④TP-17、世界タンカー海面流出油をともなった海難 (1965~66)ロイド統計、B4、3p、事務局 ⑤TP-18、世界タンカーの火災を含んだ海難と油流出 事故の発生率(1961~66の6年平均)、A4、2p、事務 局	ビニール袋
052192- 0005	第4回 海難確率部会	①第4回海難確率部会の開催について、B5、1p ②第4回海難確率部会(昭43/3/25)議事概要、A4、2p (以下、第4回部会の配布資料) ③TP-19、内航船の海難発生率、A4、6p、海防協 ④TP-20、衝突についての統計的取扱(藤井弥平 訳)、 A4、13p ⑤TP-21、小型鋼船の隻数分布等、A4、11p、海防 協 ⑥TP-22、世界タンカーの火災爆発と海面流出油を ともなった海難、A4、2p、海防協 ⑦TP-23、乗揚げ原因について、A4、1p、杉崎委員 ⑧超大型タンカーの構造上の欠陥、A4、2p、海防協	ビニール袋
052192- 0006	海難確率部会 その他資料	①海難確率部会第1回幹事会(昭43/4/10)の開催に ついて、B5、1p ②TP-24、Damage Penetration of Tankers & Bulk Carriers (グラフ)ほか、A4、3p ③TP-25、海難確率部会研究方針メモ、B5、1p、 船研、山内 ④TP-26、海難発生率の確率分布と救難体制(2)、 B5、9p、海上保安大学校研究報告、佐々木茂人 ⑤TP-27、乗揚げ確率、A4、1p	ビニール袋